

市 政 報 告

令和 4 年 12 月 6 日
第 4 回市議会定例会

令和 4 年第 4 回市議会定例会に当たり、市政の主なものについてご報告申し上げます。

はじめに、「職員の新型コロナウイルス感染」について申し上げます。

本年 1 月 12 日から昨日までの間、北海道岩見沢保健所により、本市職員 158 名の感染が確認されました。感染した職員につきましては、業務において市民との接触がないことを確認し、その後、自宅療養等を経て、職場復帰しております。

次に、「公共施設における新型コロナウイルスの集団感染」について申し上げます。

市立美唄病院においては、12 月 3 日から 4 日までの間に、入院患者 8 名及び職員 2 名の感染が確認されたことから、早期の感染収束に向け、北海道岩見沢保健所の指示により、必要な対策を講じてまいります。

次に、「新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応」について申し上げます。

北海道では、人口 10 万人当たりの新規感染者数が増加し、病床使用率も 50 パーセントを超えるなど、高い感染レベルにあることから、11 月 29 日の対策本部会議において、「オミクロン株対応の新レベル分類の運用」について決定したほか、医療のひっ迫を防ぎ、社会経済活動をできる限り維持していくため、引き続き、基本的な感染防止行動の徹底やワクチン接種を進めることとしております。

市としましては、こうした道の対策等を受け、12 月 1 日の対策本部会議において、空知管内の感染状況を踏まえ、引き続き、高い警戒感をもって基本的な感染防止対策の徹底など、必要な対策を図っていくこととしております。

今後とも、市民の皆様が一日でも早く通常の生活や事業活動を取り戻すことができるよう、職員と一丸となって「市民の命と暮らしを守る」対策を切れ目なくしっかりと講じてまいります。

次に、「新型コロナウイルスワクチンの接種」について申し上げます。

10 月 24 日から開始した「オミクロン株対応 2 価ワクチン」の接種につきましては、これまでに接種対象者約 18,000 名のうち、接種時期が到来した約 14,000 名に接種券を発送し、順次接種を進めているところであります。

また、使用するワクチンにつきましては、11 月 28 日から、「BA.1 対応ワクチン」を「BA.5 対応ワクチン」に変更し、接種を行っているところであります。

今後とも、接種を希望する全ての市民の皆様が速やかに接種を受けられるよう、美唄市医師会や市内医療機関の皆様のご協力のもと全力で取り組んでまいります。

次に、「コロナ禍における原油価格及び物価高騰等に対する対応」について申し上げます。

本定例会におきましては、当面緊急を要する公共施設の燃料費等の高騰に伴う補正予算を提案するとともに、今後、国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえ、必要な対策を講じてまいります。

次に、「ラムサール条約登録 20 周年記念イベント」について申し上げます。

「宮島沼」が国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されてから 20 年を迎えたことを記念し、「宮島沼のこれまでとこれから」をテーマに、約 120 名の参加のもとで、基調講演をはじめ、劇団ミュージカル、そして、子どもたちのマガレンジャーによるメッセージなどを通じて、これからの宮島沼の在り方を考えました。

今後とも、世界的に貴重な地域資源である「宮島沼」を将来にわたって守り続けるため、「宮島沼の保全と賢明な利用」について、地域や関係団体の皆様とともに取り組んでまいります。

次に、「ふるさと美唄応援寄附金」について申し上げます。

「ふるさと美唄応援寄附金」につきましては、当初予算において寄附額 10 億円を計上しておりましたが、大幅な増額が見込まれますことから、本定例会におきまして必要な経費の補正予算を提案するものであり、本年 11 月末日現在における寄附額は、9 億 9,910 万 9 千円となっているところであります。

今後とも、このようなたくさんの方々の美唄市に対する想いや期待にしっかりと応えるため、市民の皆様とともに美唄らしい地域づくりに、より一層取り組んでまいります。

以上、申し上げまして報告を終わります。